

目次

論 文

篠屋宗彌覚書 — 近世初期、京洛の一儒生の事績をめぐって(下) — 長坂成行 1

校訂「興福寺流記」(一) 谷本 啓 21

修士論文要旨(平成十六年度)

文学研究科 国文学専攻

「万葉集」卷八の研究 — 一六二九〜三〇番歌を中心に — 池田 貴之 43

「太平記」における後醍醐天皇の物語 岸下 裕一 47

八代集「賀の歌」論 田坂 善子 50

現代における物語の成立 — 都市伝説の形成と流布 — 高藤 史憲 54

石川達三「生きている兵隊」論 前田 朋子 56

文学研究科 文化財史料学専攻

近世大和のおかげ参りとおかげ踊りについて 井上 有貴 61

「隋書」における琉求国について 亀川 彰子 64

万国博覧会における日本館の変遷について 小林 俊晃 68

古代陸奥国の官人体制について — 辺要国の国司について — 紺野 勇貴 71

「山階流記」の研究 谷本 啓 72

中学校地理教科書における台湾の扱いについて 中村 祐介 73

永正の錯乱以降における細川氏の本庶関係 — 典厩家を軸として — 西原 正洋 75

戦国期赤松氏権力と被官層の活動形態 — 天文〜永祿期の浦上氏を中心として — 野間 克久 79

日本古代の喪葬儀礼に関する一考察 — 奈良時代における天皇の殯期間の短期化について — 三上 真由子 81

山田方谷における誠の観念と理想の社会像	川崎貴志	84	
明末清初期の蔵書家の活動と出版	佐長俊和	86	
十六世紀中期における備後の在地領主と大名勢力との相互関係について	山内首藤氏を主題として	竹岡健次	88
漢代における軍隊の運営について	補給体制から見た軍の運営	山縣奉史	92